

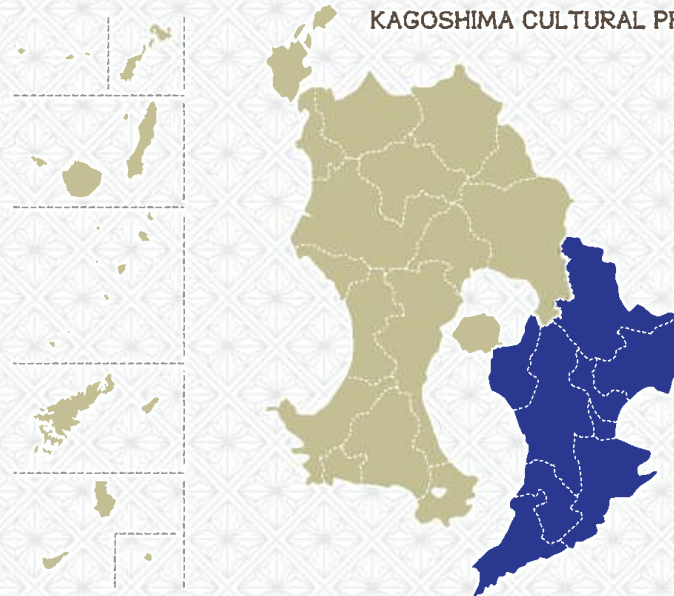
かごしま
文化財
探訪
地区隅



かごしま
文化財
探訪
地区隅

あなたの知らない鹿児島に
あいにくう。

KAGOSHIMA CULTURAL PROPERTY EXPLORATION
IN OSUMI AREA



はじめに

鹿児島県教育委員会では、本県に所在する文化財の価値を広く国内外に発信し、本県の魅力を伝えるため、文化財をテーマとした周遊モデルコースを設定し、歴史ガイドブック「かごしま文化財探訪」やPR動画を制作しました。

本書は、今年度対象地区とした大隅地区におけるテーマごとの周遊モデルコースや、その文化財を掲載したものです。令和元年度から令和3年度にかけて、7地区について作成することとしています。

本県は、九州最南端に位置し、その範囲は奄美群島まで南北約600kmにもわたり、各地で様々な文化が生まれ、現在も数多くの文化財が残されています。本書では、県内の一部の文化財を紹介しておりますが、これを糸口として、県内外の多くの方々が本県の文化財に興味を持ち、探訪していただければ幸いです。

令和3年3月
鹿児島県教育委員会

本ガイドブックに紹介させていただいた一部の文化財については、動画でもご覧いただけます。



<https://www.kagoshima-kankou.com/s/movie/53637/>



鹿児島は日本の南端にあり、古くから中国をはじめとするアジア太平洋地域の国々の影響を受けながら特色ある歴史を積み重ねてきました。文化財を探訪することで、鹿児島島の魅力を再発見してみましよう。大隅地区では、「戦争を偲ぶコース」、「古墳巡りコース」、「大地のエネルギー体感コース」の3つのモデルコースを設定しました。

平和学習にオススメ！
「戦争を偲ぶコース」



- 官軍墓地（曾於市指定史跡） P9
- 権現島水際陣地跡（志布志市指定史跡） P10
- 砲台跡（肝付町指定史跡） P11
- 海軍航空隊笠野原基地の川東掩体壕（鹿児島市指定史跡） P12
- 海軍航空隊串良基地跡の地下壕電信司令室（鹿屋市指定史跡） P13
- 旗山神社の大楠（錦江町指定天然記念物） P14
- 根古原台場跡（県指定史跡） P15
- 西郷南洲翁宿泊の家（南大隅町指定有形文化財（建造物）） P16

体力に自信のある方におすすめ！
「古墳巡りコース」



- 横瀬古墳（国指定史跡） P19
- 岡崎古墳群（県指定史跡） P20
- 唐仁古墳群（国指定史跡） P21
- 新川西の田の神（下伊倉の田の神）（県指定有形民俗文化財） P22
- 塚崎古墳群（国指定史跡） P23
- 塚崎のクス（国指定天然記念物） P24

豊かな自然から歴史を感じる！
「大地のエネルギー体感コース」



- 溝ノ口洞穴（国指定天然記念物） P27
- 夏井海岸の火伴流堆積物（国指定天然記念物） P28
- 花瀬の石甕（県指定天然記念物） P29
- お茶亭跡（錦江町指定史跡） P30
- 都萬神社（国登録有形文化財（建造物）） P31
- 笠野原土持堀の深井戸（県指定史跡） P32
- 観音淵中世古石塔群（鹿児島市指定史跡） P33
- 牛根麓稻荷神社の埋没鳥居（垂水市指定天然記念物） P34
- 櫻島焼亡塔（鹿児島市指定史跡） P35

その他

- その他文化財 P36～
- 季節の見どころ P42～



KAGOSHIMA CULTURAL PROPERTY EXPLORATION IN OSUMI AREA
あなたの知らない鹿児島。
あいにいこう。

平和学習にオススメ！
「戦争を偲ぶコース」

体力に自信のある方におすすめ！
「古墳巡りコース」

豊かな自然から歴史を感じる！
「大地のエネルギー体感コース」





「戦争を偲ぶコース」

平和学習にオススメ！

あなたの知らない鹿児島に
あいにくう。

幕末期から昭和まで、大隅が舞台となった戦争関連の文化財をめぐるコースです。特に、鹿屋では特攻隊について学ぶことができます。文化財は、私たちに戦争の悲惨さや、命の尊さ、平和の大切さを静かに伝えてくれます。

JR 鹿児島中央駅 発

- 1 **官軍墓地**  高速 約 1 時間 15 分 またはフェリー利用可
曾於市大隅町岩川
- 2 **権現島水際陣地跡**  約 31 分 
志布志市志布志町帖 6617-142
- 3 **砲台跡**  約 42 分
肝属郡肝付町南方 2636-1
- 4 **海軍航空隊笠野原基地の
川東掩体壕**  約 31 分 
鹿屋市川東町 8206-1
- 5 **海軍航空隊串良基地跡の
地下壕電信司令室**  約 10 分 
鹿屋市串良町有里 4963-7
- 6 **旗山神社の大楠**  約 25 分  
肝属郡錦江町城元
- 7 **根占原台場跡**  約 26 分  
肝属郡南大隅町根占辺田 608 番地 1
- 8 **西郷南洲翁宿泊の家**  約 10 分 
肝属郡南大隅町根占川北 38 番地

鹿児島中央駅 着

 高速 約 2 時間 10 分 またはフェリー利用可

官軍墓地

かんぐんぼち



西南戦争で亡くなった官軍の墓

西南戦争において、明治10(1877)年6月末～7月24日に都城が陥落するまでの戦いで亡くなった官軍(政府軍)の戦死者を埋葬した墓地です。陸軍大尉の山形照方、少尉の奥田政実、少佐試補の林為隆をはじめ、下士官、兵卒、^{ヌビキソウ}驛卒、軍夫など80基余りの墓石があります。墓石には戦死者の出身地が彫られており、山形から熊本まで全国各地から戦いにきていたことが分かります。

文化財探訪
行ってみてコラム

官軍ゆかりの史跡として、鹿児島市祇園之洲公園に官軍戦没者慰霊塔があります。

● 周辺環境



● お問合せ先

曾於市教育委員会 社会教育課
鹿児島県曾於市大隅町岩川 5629 番地
☎ 099-482-5958

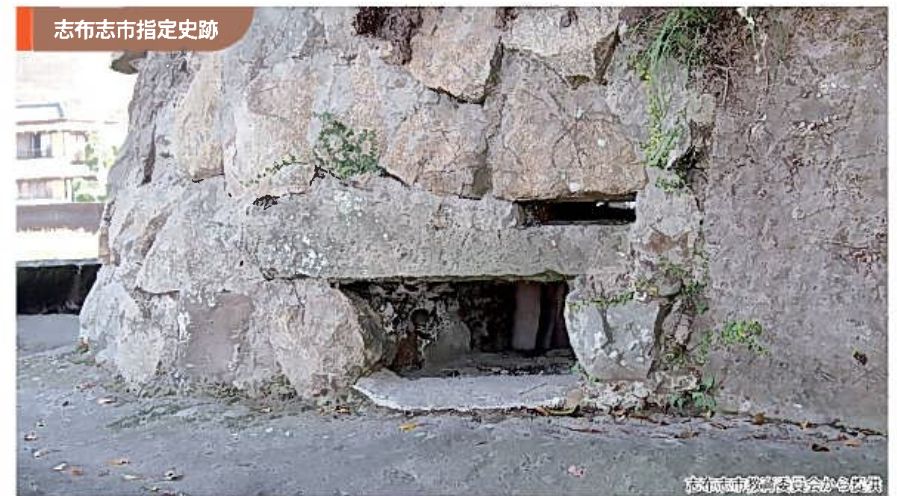
● 所在地

曾於市大隅町岩川



権現島水際陣地跡

ごんげんじまみずぎわじんちあと



太平洋戦争における砲兵陣地

権現島は、太平洋戦争末期に連合軍の本土上陸に備え、短期間に大量の兵員投入による防衛陣地の構築がおこなわれた場所でした。志布志地区隊は、各拠点を堅固に防衛し、砲兵軍と共に、上陸する敵を水際で撃滅することが任務とされていました。現在、2か所に銃眼を備えた地下壕が残されています。

文化財探訪
行ってみてコラム

近くには津口番所跡(市指定史跡)もあり、古くより交通の要所だったことが分かります。

● 周辺環境



● お問合せ先

志布志市教育委員会生涯学習課
鹿児島県志布志市志布志町志布志二丁目1番1号
☎ 099-472-1111

● 所在地

志布志市志布志町
帖 6617-142



砲台跡

ほうだいあと



島津斉彬が設けた台場

幕末に海防論が盛んになると、島津斉彬は県下の沿岸要所に砲台を設けました。内之浦もその一つで、内之浦小学校の松林辺りが砲台跡です。大砲は、長さ60cmの臼砲（高く打ち上げるもの）、12ポンド砲（長距離射撃用）、700目野戦砲（弾が700目の小型大砲）、500目野戦砲（弾が500目の小型大砲）の4門がありました。守備の士卒の不足は、加世田や国分などから移住させ補いました。現在、砲台跡には「大東亜、日清、日露戦争」の慰霊碑が建てられています。



● 周辺環境

● お問い合わせ先

肝付町教育委員会生涯学習課
鹿児島県肝付郡肝付町前田 1020
☎ 0994-65-2594

● 所在地

肝付郡肝付町南方 2636-1



海軍航空隊笠野原基地の川東掩体壕

かいぐんこうくたいかさのほらきちのかわひがしえんたいごう



戦闘機を守っていた施設跡

戦闘機を敵の攻撃（空襲）から守るためのコンクリート製の格納庫（シェルター）です。笠野原飛行場近くに造られたものが残っています。笠野原飛行場は、戦時中に笠野原海軍航空隊基地として使用され、昭和20（1945）年3月18日の米軍による集中爆撃で大きな被害を受けました。



● 周辺環境

● お問い合わせ先

鹿屋市教育委員会生涯学習課文化財センター
鹿屋市串良町岡崎 2059
☎ 0994-31-1167

● 所在地

鹿屋市川東町 8206-1

文化財探訪
行ってみてコラム

大砲を設置する場所が砂地であったため、重量のある大砲ではなく小回りの利く小型の大砲を用いて戦うことを想定していたと考えられます。

文化財探訪
行ってみてコラム

もっと詳しく知りたい方は、鹿屋航空基地資料館に立ち寄ってみてください。

海軍航空隊串良基地跡の地下壕電信司令室

かいぐんこうくうたいくしらきちあとのちかごうでんしんしれいしつ



鹿屋市指定史跡

特攻隊と連絡をとっていた電信司令室

串良海軍基地から飛び立った隊員が、突撃前に送る最後の電信を受け取っていた地下壕です。モールス信号の様子を追体験できます。この電信司令室では、隊員たちが24時間交代制で任務にあたっていたそうです。鹿屋市には、太平洋戦争時に笠野原・鹿屋・串良と3つの飛行場が存在し、最も多くの特攻隊が出撃しました。

文化財探訪
行ってみてコラム

モールス信号とは、モールス符号を用いた手送り電信のことです。ドラマ「永遠の0」のロケ地になりました。



● 周辺環境



● お問合せ先

鹿屋市教育委員会生涯学習課文化財センター
鹿屋市串良町岡崎 2059
☎ 0994-31-1167

● 所在地

鹿屋市串良町有里 4963-7



旗山神社の大楠

はたやまじんじゃのおおくす



錦江町指定天然記念物

数々の戦と縁のある神社の大楠

朝鮮出兵、琉球出兵の時に山の竹を旗竿としたため、旗山と呼ばれます。日露戦争の際、大根占出身の斥候が方角を見失い途方にくれていた時、「私は池田の旗山だ」と名乗る白髪の老人が現れ日本軍の所在を教えてくれたという言い伝えが残っています。以後、老人は旗山神社の化身だったといわれ、戦の神として崇められるようになりました。楠は樹齢800年以上と推定され、平家の落人が住み着いたといわれる鎌倉時代からのものと考えられます。

文化財探訪
行ってみてコラム

旗山神社を中心に、正月行事である「池田の柴祭り」がおこなわれています。シシ狩りの模倣をおこなう「シシ狩り神事」が特徴的です。



● 周辺環境



● お問合せ先

錦江町教育委員会教育課
鹿児島県肝属郡錦江町城元 963
☎ 0994-22-0517

● 所在地

肝属郡錦江町城元



根占原台場跡

ねじめはらだいばあと



イギリス艦隊来航に備えた台場

弘化4(1847)年に辺田に築かれた台場を、薩英戦争に備えて拡張構築された砲台跡です。海岸にあった花崗岩(御影石)で造られた石垣が残っています。鹿児島市内の天保山や新波止の台場は、新型のキスト砲架に対応した台場に改修されていますが、根占原の台場は、旧式の台場の形状が残っています。現在、レブリカの大砲が展示されており、当時の様子を感じることができます。

文化財探訪
行ってみてコラム

島津斉彬が台場の巡視をした際に利用した手水鉢が残っています。



● 周辺環境



● お問い合わせ先

南大隅町教育委員会教育振興課社会教育係
鹿児島県肝属郡南大隅町根占川北 226
☎ 0994-24-3164

● 所在地

肝属郡南大隅町
根占辺田 608 番地 1



西郷南洲翁宿泊の家

さいごうなんしゅうおうしゅくはくのいえ



「ちょ、しもた!」の舞台

西郷隆盛が、明治10(1877)年の西南戦争直前まで滞在していた宿所です。西郷は、この地で狩猟(兎狩り)や揮毫をして過ごしていました。宿所の壁には、西郷の猟銃が暴発した時の弾跡が残っています。西南戦争のきっかけとなった、私学校生徒による陸軍火薬庫襲撃の報を聞いた西郷は「ちょっ、しもた」と言い引き返したといわれています。西郷が、ゆっくりと過ごすことができた人生最後の地となりました。

文化財探訪
行ってみてコラム

西郷が使ったといわれる、浴槽(石風呂)と手水鉢が残っています。



● 周辺環境



● お問い合わせ先

南大隅町教育委員会教育振興課社会教育係
鹿児島県肝属郡南大隅町根占川北 226
☎ 0994-24-3164

● 所在地

肝属郡南大隅町
根占川北 38 番地





「古墳巡りコース」

体力に自信のある方におすすめ！

あなたの知らない鹿児島に
あいにくう。

大隅地区の古墳をめぐるコースです。古墳とは、土盛りをした古代の墳墓のことです。豪族や有力者によって造営されました。歩いて見てまわるため、体力のある方向けですが、関連する資料館に立ち寄るだけでも楽しめます。

JR 鹿児島中央駅 発

- 1 横瀬古墳  高速 約 1 時間 38 分 またはフェリー利用可
曾於郡大崎町横瀬 1427
- 2 岡崎古墳群  約 17 分
鹿屋市串良町岡崎
- 3 唐仁古墳群  約 10 分  
肝属郡東串良町新川西
- 4 新川西の田の神（下伊倉の田の神）  約 6 分
肝属郡東串良町新川西下伊倉
- 5 塚崎古墳群  約 5 分 
肝属郡肝付町野崎 2238 ほか
- 6 塚崎のクス 
肝属郡肝付町野崎 2238

鹿児島中央駅 着

 高速 約 1 時間 45 分 またはフェリー利用可

横瀬古墳

よこせこふん



墳丘の高さが県内1の古墳

横瀬の水田地帯にある前方後円墳で、5世紀後半のものとも推測されます。後円部には、竪穴式石室があります。明治35（1902）年に盗掘があった際、石室内は朱塗りで直刀、勾玉、甲冑などが出土したといわれています。墳丘に沿って農道があるため、後円部が少し削りとられています。県内では唐仁大塚1号墳に次ぎ2番目の規模の古墳です。平成22、23年に大崎町教育委員会が行った発掘調査で、二重の周溝が確認されました。



● 周辺環境

● お問合せ先

大崎町教育委員会社会教育課文化公民館係
 曾於郡大崎町飯宿 1029 番地
 ☎ 099-476-1111

● 所在地

曾於郡大崎町横瀬 1427



岡崎古墳群

おかざきこふんぐん



様々な副葬品が出土している古墳群

肝属平野の台地上に立地する古墳群です。唐仁大塚1号墳と岡崎15号墳が同時期のもので、政治力があつた人の墓だと考えられます。帆立貝式前方後円墳と推定され、規模は小さいながら長方形革綴短甲やヒスイ製勾玉などが出土しています。岡崎18号墳の地下式横穴墓からは、鉄筵やU字型鍬先が発見されており、朝鮮半島とも交流があつたことが分かります。また、岡崎4号墳は墳丘上から5世紀中頃の須恵器の破片が出土しています。



● 周辺環境

● お問合せ先

鹿屋市教育委員会生涯学習課文化財センター
 鹿屋市串良町岡崎 2059
 ☎ 0994-31-1167

● 所在地

鹿屋市串良町岡崎

文化財探訪
行ってみてコラム

幕末の地誌「三国名勝図会」では、横瀬古墳のことを大塚山と表現しています。墳丘は、黒色土を主とした盛土でできています。

文化財探訪
行ってみてコラム

事代主神社のクス（市指定天然記念物）もぜひ見てください！

唐仁古墳群

とうじんこふんぐん



国指定史跡

県内一数の多い古墳群

東串良町字唐仁、小新地、大塚、大塚原にまたがる大古墳群です。古墳時代中期～後期のものとされています。中でも、唐仁大塚1号墳は、九州で3番目に大きな古墳です。前方後円墳で、古墳の上に大塚神社が建立されています。昭和7(1932)年には、石室の内部調査がおこなわれ、短甲の一部が確認されました。唐仁古墳群の中で2番目に大きい100号墳は、大崎町の横瀬古墳と形が似ている前方後円墳です。

文化財探訪
行ってみてコラム

東串良町郷土研修館(駐車場兼)では、唐仁古墳群マップが配布されています。マップを参考に古墳の散策をしてみてください。



● 周辺環境



● お問合せ先

東串良町 教育委員会 社会教育課
肝属郡東串良町新川西 1543
☎ 0994-63-3134

● 所在地

肝属郡東串良町新川西



新川西の田の神(下伊倉の田の神)

しんかわにしのだのかみ(しもいくらのたのかみ)



県指定有形民俗文化財

約200年前につくられた田の神さあ

唐仁古墳近くの新川西下伊倉の道路沿いにある、本城石(凝灰岩)でつくられた田の神です。文化4(1807)年につくられたもので、僧(山伏僧)の姿をしています。彩色が一部残っており、損傷も少ない状態です。右手にメシゲ、左手に宝珠、腹部にひょうたんと木の葉のようなものを持っています。2俵の俵の上に立っており、台石まで含めると全長160cmあります。

文化財探訪
行ってみてコラム

メシゲはしゃもじ、宝珠は財宝をもたらしたり災いを除いたりするとされる珠のことです。



● 周辺環境



WALK

● お問合せ先

東串良町 教育委員会 社会教育課
肝属郡東串良町新川西 1543
☎ 0994-63-3134

● 所在地

肝属郡東串良町新川西下伊倉



塚崎古墳群

つかざきこふんぐん



日本最南端の古墳群

塚崎古墳群は、古墳時代前期・中期・後期の各時期を網羅しているといわれ、前方後円墳が存在する古墳としては日本最南端の古墳群です。塚崎と花牟礼の両地区にまたがります。畑の中にある古墳は、永年耕作などによって周囲が削り取られてしまい方墳のようになったものもありますが、もともとは円墳です。吾平・高山地方には地下式横穴墓が多くみられ、塚崎古墳群内で地下式横穴墓が30基ほどあるといわれています。

文化財探訪
行ってみてコラム

肝付町立歴史民俗資料館には、古墳の出土遺物が展示されています



● 周辺環境



● お問い合わせ先

肝付町教育委員会生涯学習課
鹿児島県肝付郡肝付町前田 1020
☎ 0994-65-2594

● 所在地

肝付郡肝付町野崎 2238 ほか



塚崎のクス

つかざきのくす



古墳の上にそびえる大楠

塚崎大塚神社の御神木であり、塚崎古墳の1号墳の円墳上に生育しています。樹齢推定1200～1300年以上といわれ、高さ25m、目通り幹回り14mあります。根元から地下にかけてほら穴があり、大蛇が住むという伝説や、戦争が起きる前に枝が折れて予報するというような伝説があります。

文化財探訪
行ってみてコラム

樹上には、オオタニワタリをはじめとする植物が着生しています。



● 周辺環境



● お問い合わせ先

肝付町教育委員会生涯学習課
鹿児島県肝付郡肝付町前田 1020
☎ 0994-65-2594

● 所在地

肝付郡肝付町野崎 2238





「大地のエネルギー 体感コース」

豊かな自然から歴史を感じる！

あなたの知らない鹿児島に
あいにくう。

私たちは、自然と共に暮らしています。雄大な桜島は火山の恵みをもたらしてくれる反面、災害を起こすこともあります。先人たちが自然とどのように向き合い生活してきたのか、そんなストーリーを感じることでできるコースです。

JR 鹿児島中央駅 発

- 1 溝ノ口洞穴  約 1 時間 23 分
曾於市財部町下財部 4907  
- 2 夏井海岸の火砕流堆積物  約 1 時間
志布志市志布志町夏井  
- 3 花瀬の石畳  約 1 時間 18 分
肝属郡錦江町田代川原地内  
- 4 お茶亭跡  約 1 時間
肝属郡錦江町田代川原 4269-15  
- 5 都萬神社  約 60 分
曾於郡大崎町假宿 1589  
- 6 笠野原土持堀の深井戸  約 22 分
鹿屋市申良町細山田 5323  
- 7 観音淵中世古石塔群  約 14 分
鹿屋市下高隈町 
- 8 牛根麓稻荷神社の埋没鳥居  約 48 分
垂水市牛根麓 675-1 
- 9 櫻島焼亡塔  約 11 分
垂水市海潟町 651

鹿児島中央駅着

 高速 約 1 時間 10 分 またはフェリー利用可

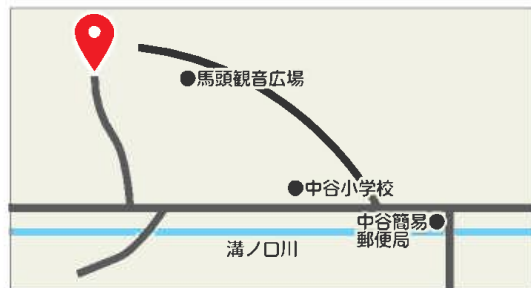
溝ノ口洞穴

みぞのくちどうけつ



幻想的な雰囲気のパワースポット

約33万年前の加久藤カルデラによる火砕流堆積物が侵食された谷状の地形に、約3万年前の始良カルデラからの入戸火砕流堆積物が厚く堆積しました。洞穴内では入戸火砕流が熱と圧力により、溶結凝灰岩へと変成した様子がよく観察できます。地下水流による浸食と崩落をくり返しながらかつて形成され、絶妙なバランスを保ち、幻想的な雰囲気を醸し出しています。入口の横幅14.6m、高さ6.4m、全長は209.5mあり、洞穴天井には、火山ガスが抜けた跡の「吹き抜けパイプ」と呼ばれる大小様々なサイズの孔が見られます。火砕流堆積物の中にできた自然洞穴として、国内で最大級を誇ります。



● 周辺環境



● お問合せ先

曾於市教育委員会 社会教育課
曾於市大隅町岩川 5629 番地
☎ 099-482-5958

● 所在地

曾於市財部町下財部 4907



夏井海岸の火砕流堆積物

なついかいがんのかさいりゅうたいせきぶつ



複数の火砕流が堆積

志布志湾の奥に位置する夏井海岸は、宮崎県の日南海岸の「鬼の洗濯岩」で有名な日南層群が基礎岩石となっており、その上に火砕流が堆積した様子が分かります。約28000年前に始良カルデラから噴出した入戸火砕流の堆積物は、石材として利用されるなど貴重なものです。夏井漁港から志布志港までの海岸線のうち、自然の海岸が残っている約1kmの区間が国の指定となっています。



● 周辺環境



● お問合せ先

志布志市教育委員会生涯学習課
鹿児島県志布志市志布志町志布志二丁目1番1号
☎ 099-472-1111

● 所在地

志布志市志布志町夏井



花瀬の石畳

はなぜのいしだたみ



県指定天然記念物

溶結凝灰岩が作り出す景勝地

花瀬の石畳は、阿多火砕流(約11万年前に噴出した火砕流堆積物)の溶結凝灰岩が厚く堆積してつくりだした河床です。川幅約100m、長さ約2kmにわたり溶結凝灰岩が平坦で起伏なく、畳を敷き詰めたように堆積し「千畳敷」と呼ばれる美しい景観を楽しむことができます。カルデラを形成するような大噴火の規模を知る上で貴重な場所です。花瀬公園の上流・下流に生息するカワゴケソウ科のカワゴロモは、町の天然記念物に指定されています。

文化財探訪
行ってみてコラム

花瀬の石畳(花瀬自然公園)では、春は桜や藤の花、夏は新緑、秋は紅葉と四季折々の景色を楽しむことができます。

● 周辺環境



● お問い合わせ先

錦江町教育委員会教育課
鹿児島県肝属郡錦江町城元 963
☎ 0994-22-0517

● 所在地

肝属郡錦江町田代川原地内



お茶亭跡

おちゃていあと



錦江町指定史跡

殿様も休んだお茶亭

古くから花瀬は景勝地であり、出向くことを「花瀬出張(ては)い」と称しました。江戸時代後期の地誌『三国名勝図会』には、「お茶亭の跡ありて川に臨めり」と紹介されています。第11代薩摩藩主の島津斉彬はこのお茶亭を利用したといわれています。14個の釜で湯を沸かし、煮炊きに使用したそうです。現在、湯を沸かした溶結凝灰岩の釜土跡が残っています。

文化財探訪
行ってみてコラム

第2代薩摩藩主の島津光久や7代藩主の島津重年など殿様が訪れています。釜土跡を見ると、茶席が盛大であったことが伺えます。

● 周辺環境



● お問い合わせ先

錦江町教育委員会教育課
鹿児島県肝属郡錦江町城元 963
☎ 0994-22-0517

● 所在地

肝属郡錦江町
田代川原 4269-15



都萬神社

つまじんじゃ



国登録有形文化財(建造物)

大崎の一の宮

都萬神社の御祭神のコノハナサクヤヒメノミコトは山の神の娘です。火山鎮火の神とされ噴火を繰り返していた富士山が、コノハナサクヤヒメノミコトを祀ることで鎮火したという言い伝えがあります。本殿・拝殿とともに、4つの末社である伊勢宮、稻荷神社、五林大明神社、山王神社のすべてが国の有形文化財に登録されています。本殿には干支の彫刻が施されています。また、神社所有の「銅鏡 籬二菊双雀文様 一面」は国の有形文化財に指定、銅鏡51面と神楽面は町の有形文化財に指定されています。



● 周辺環境



● お問い合わせ先

大崎町教育委員会社会教育課文化公民館係
 曾於郡大崎町仮宿 1029 番地
 ☎ 099-476-1111

● 所在地

曾於郡大崎町仮宿 1589



笠野原土持堀の深井戸

かさのはらつちもちぼりのふかいど



県指定史跡

全国的に珍しい牛の水汲み

水はけのよいシラス台地の笠野原は長年耕作ができて、江戸時代から徐々に開発されるようになりました。水の確保のために深井戸が多数掘られました。中でも土持堀の深井戸は保存の状態が良いです。井戸の深さは約64mあり、人力で引き上げることができないため、牛や馬に綱を引かせて水汲みをおこなっていました。牛や馬が往復する道を「ツイノババ(つるべの馬場)」、土持堀は「ツモイボイ」と呼ばれていました。

文化財探訪
行ってみてコラム

井戸は、文化元(1804)年以前に掘られたものだと言われます。深井戸の脇には水神碑があります。

● 周辺環境



● お問い合わせ先

鹿屋市教育委員会生涯学習課文化財センター
 鹿屋市串良町岡崎 2059
 ☎ 0994-31-1167

● 所在地

鹿屋市串良町細山田 5323



観音淵中世古石塔群

かんのんぶちちゅうせいこせきとうぐん



鹿屋市指定史跡

湧水を利用し開田した先駆者たち

観音淵は、始良カルデラから噴出した降下軽石層を地下水がえぐりつつたつたものです。古石塔群は、廃仏毀釈により地中に埋められたままになっていましたが、福岡から訪れた住職の「この周辺に古い古石塔群が埋まっている」とのお告げにより探し出しました。昭和53(1978)年に県立鹿屋農業高校高隈分校の生徒たちの協力により復元しました。右側が、鎌倉初期にこの地方の開田作業を進めた一族と家臣団の逆修供養塔で、左側は肝付氏のものです。

文化財探訪 行ってみてコラム

観音窟湧水の水質は超軟水で、カルシウム・マグネシウム比が良く名水といわれています。



● 周辺環境



● お問い合わせ先

鹿屋市教育委員会生涯学習課文化財センター
鹿屋市串良町高隈 2059
☎ 0994-31-1167

● 所在地

鹿屋市下高隈町



牛根麓稻荷神社の埋没鳥居

うしねふもといなりじんじやのまいぼつとりい



垂水市指定天然記念物

大正噴火の被害を感じる記念物

島津義久により牛根の地頭に任命された伊集院久道が、島津氏の氏神である稻荷神社を天正3(1575)年に創建しました。稻荷神社の鳥居は、もともと1丈1尺5寸(約3.7m)ありましたが、大正3(1914)年の大噴火の際に噴出した火山灰や軽石などにより埋もれてしまいました。約1.5mが掘り出され姿を現しています。県の天然記念物に指定されている桜島の腹五社神社(黒神神社)にある埋没鳥居とともに、桜島の大噴火と火山性地震の激しさを伝える貴重な記念物です。

文化財探訪 行ってみてコラム

噴火による地震でずれた鳥居が落ちずに離れないことから、良縁・夫婦円満・学業成就をあやかってみてはいかがでしょうか。



● 周辺環境



● お問い合わせ先

垂水市教育委員会社会教育課文化スポーツ係
垂水市田神 2750-1
☎ 0994-32-7551

● 所在地

垂水市牛根麓 675-1



櫻島焼亡塔

さくらじましょうぼうとう



安永噴火の碑

安永8(1779)年10月1日に起こった桜島の大噴火により人馬が焼け出され、焼死者が出たほか、難を逃れようと海に飛び込み多くの溺死者もでました。その霊を弔うため、垂水海潟の浜で大供養をおこない、碑を松岳寺に建てました(安永10年5月4日建立)。現在、碑は菅原神社境内に移されています。碑文は、後に垂水島津家家老を務め、学問所「文行館」の経営に携わった市川鶴鳴が作成しています。

文化財探訪
行ってみてコラム

安永噴火は、垂水島津家家臣の伊地知季虔が『櫻島燃記』として記録しています。

● 周辺環境

● お問合せ先

垂水市教育委員会社会教育課文化スポーツ係
垂水市田神 2750-1
☎ 0994-32-7551

● 所在地

垂水市海潟町 651



地区隔
「その他文化財」

あなたの知らない鹿児島に
あいにいこう。

他にも魅力的な文化財が数多く残されています。特に、地域に伝わる祭りや伝統芸能、植物などは楽しめる時期が決まっています。春夏秋冬、四季を感じながら文化財巡りをするのもオススメです。何度でも足を運んでください。

佐多旧薬園

奇薬・珍果を植えた奇宝の薬園

さたきゅうやくえん



佐多薬園は、堀切薬園と上之岡平薬園の2つを併せた呼称です。リュウガンが多く植えられていたことから竜眼山とも呼ばれていました。佐多の温暖な気候に着目した鳥津重豪(第8代藩主)が薬園の経営に努めました。吉野薬園や山川薬園とともに藩の薬草園として知られています。現在でもリュウガンやレイシが育てられており、江戸時代の母木の子孫にあたります。その他、アカテツやオオバゴムノキなどが植栽されています。

● お問い合わせ先

南大隅町教育委員会教育振興課社会教育係
 肝属郡南大隅町根占川北 226
 ☎ 0994-24-3164

● 所在地

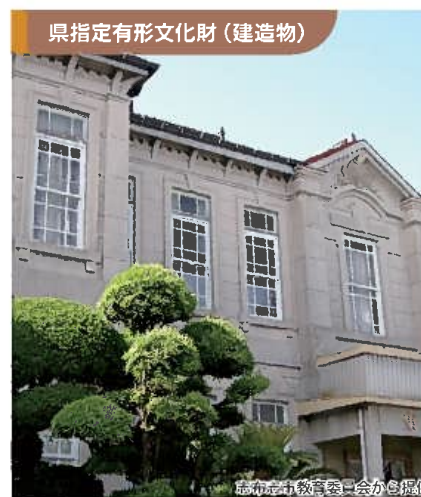
肝属郡南大隅町佐多伊座敷



旧東郷医院

地域を代表する近代建築

きゅうとうごういいん



県指定有形文化財(建造物)

江戸時代に診療所であった町屋と、大正7(1918)年に建てられたルネッサンス調デザインの洋館があります。東郷医院は、小児科と産婦人科を専門とする地域の中核医療施設でした。玄関上部のアーチ上に、子どもの頭部がレリーフとして飾られています。診察室、レントゲン室、待合室は原状を留めており、過去の診療風景を知ることができます(見学は外観のみとなります)。

● お問い合わせ先

志布志市教育委員会生涯学習課
 鹿児島県志布志市志布志町志布志二丁目1番1号
 ☎ 099-472-1111

● 所在地

志布志市志布志町志布志1丁目5-10



祢寝氏累代の墓

南大隅を支配した一族

ねじめしるいだいのほか



南大隅町指定史跡

祢寝氏は、初代清重から17代重張が吉利に移封されるまで、根占を中心に現在の南大隅を支配してきました。累代の墓には、5代~16代までと夫人の墓があります。墓末に家老を務めた小松帯刀や内閣総理大臣を務めた山本権兵衛も祢寝氏ゆかりの人物です。

● お問い合わせ先

南大隅町教育委員会教育振興課社会教育係
 肝属郡南大隅町根占川北 226
 ☎ 0994-24-3164

● 所在地

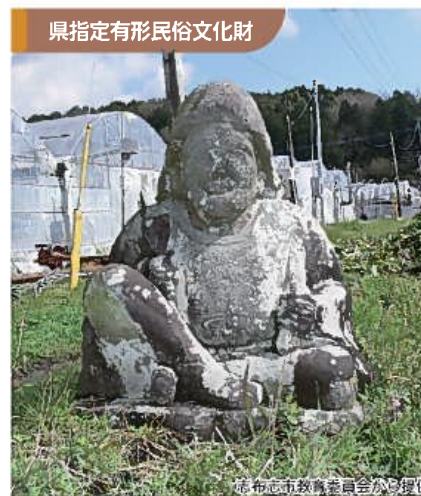
肝属郡南大隅町川南北之口



有明町野井倉の田の神

志布志市で最も古い田の神

ありあけちようのいくらのかみ



県指定有形民俗文化財

田の神は「たのかんさあ」と呼ばれ、稲作の豊穡をもたらす神として大切にされています。野井倉の田の神は、寛保3(1743)年作で、像の高さは76cm、座幅は65cmあります。頭に頭巾をかぶり、顔が大きく、眉や目ははっきりとしていて、庶民的な表情が印象的です。左手にすりこぎ、右手にメシゲとともに垂直に立てて持つ姿は、大隈半島に広くみられる型です。

● お問い合わせ先

志布志市教育委員会生涯学習課
 鹿児島県志布志市志布志町志布志二丁目1番1号
 ☎ 099-472-1111

● 所在地

志布志市有明町野井倉 3235-5



桜迫神社の仁王像

さくらごじんじやのにおうぞう



肝付町指定有形文化財(彫刻)

畑に埋められた仁王像

造立年代は不明ですが、享保時代(1716～1736年)の製作ではないかといわれています。仁王像は、宮下の新福寺の門前にあったもので、廃仏毀釈の際に近くの畑に埋められ難を逃れました。その後、掘り出して移されました。また、神社の宝物として伝えられている古鏡五面(日本製が三面、中国製が二面)は、町の有形文化財に指定されています。

● お問い合わせ先

肝付町教育委員会生涯学習課
鹿児島県肝付郡肝付町前田 1020
☎ 0994-65-2594

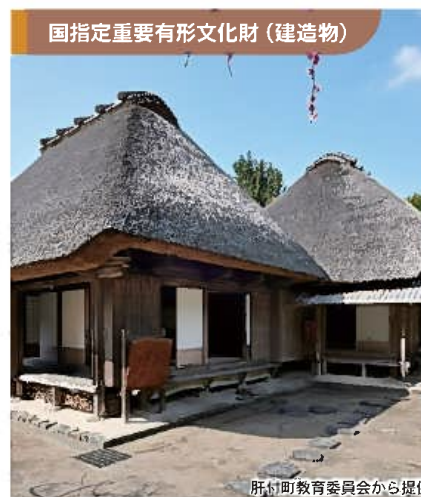
● 所在地

肝付郡肝付町宮下 1647



二階堂家住宅 おもてなかえ 江戸時代の郷土の住居

にかいどうけじゅうたく おもて なかえ



国指定重要有形文化財(建造物)

建築年代は不明ですが、おもては文化7(1810)年頃、門は元文5(1740)年に建てられたといわれています。おもての間取りは、床の間8畳、おもて15畳、納戸4畳で、座敷はなかえより18cm高く造られています。屋根は茅葺きで、庇は竹葺きでできています。典型的な二棟造りの家で、武家門などとともに江戸時代郷土の住居として大変貴重なです。

● お問い合わせ先

肝付町教育委員会生涯学習課
鹿児島県肝付郡肝付町前田 1020
☎ 0994-65-2594

● 所在地

肝付郡肝付町新富 5595-1



岩渕上の隧道

いわぶちうえのずいどう



肝付町指定史跡

高山の産業を支えた隧道

二階堂家住宅の西側を流れる用水路の隧道です。江戸時代初期、米作りの増産が奨励され、島津家第19代当主光久の命により、治水工事、新田開発などの農政に力が注がれました。高山郷の地頭には岡書久通が任命され、高山用水路や用水池をつくり、高2000石の開田を成し遂げました。寛文元(1661)年に起工し、完成したのは寛文11(1671)年であり、10年の歳月を要した大工事でした。

● お問い合わせ先

肝付町教育委員会生涯学習課
鹿児島県肝付郡肝付町前田 1020
☎ 0994-65-2594

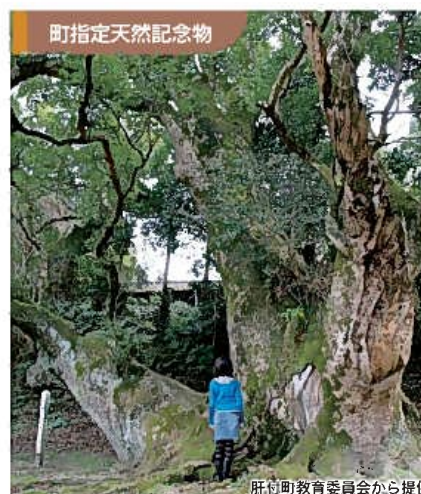
● 所在地

肝付郡肝付町新富



小田の楠

こだのくす



町指定天然記念物

天皇の杖から小田森

西暦81年頃、景行天皇が熊襲親征のため小田の宿に一時泊し、宿を出発する際に忘れた楠の木の杖が根付いて大楠になったという三伝い伝説があります。江戸時代後期の地誌『三国名勝図会』では、楠は一度枯れ、その宿根から芽生え、現在の大楠になったとあります。根本まわり15.5m、高さ25mありますが、昭和13(1938)年の大洪水により根本が約2m埋まってしまっているため、実際はもう少し大きい樹です。

● お問い合わせ先

肝付町教育委員会生涯学習課
鹿児島県肝付郡肝付町前田 1020
☎ 0994-65-2594

● 所在地

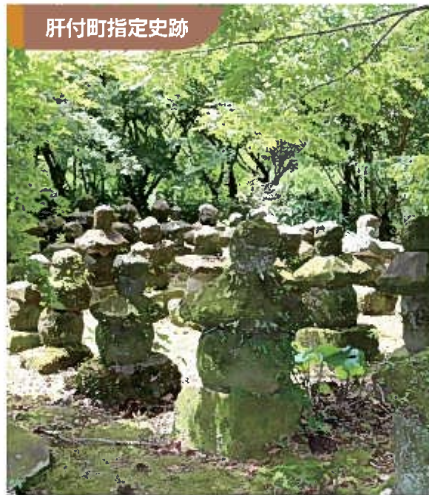
肝付郡肝付町南方 1228



道隆寺跡

紅葉が美しい寺跡

どうりゅうじあと



肝付町指定史跡

道隆寺は、寛元4(1246)年に蘭溪道隆禪師が開基しました。道隆禪師は、その後北条時頼によって鎌倉に上り、建長寺を創建した人物です。仁王像や石垣跡、門柱跡、観音堂跡、五輪塔などが残っています。平成18(2006)年には、島津家第6代当主氏久と7代元久の逆修供養塔が発見されました。逆修供養塔からも、島津氏が肝付氏と接近したことが分かります。いつでも見学できますが、紅葉の季節に見に行くことをお勧めします。

● お問合せ先

肝付町教育委員会生涯学習課
鹿児島県肝付郡肝付町前田 1020
☎ 0994-65-2594

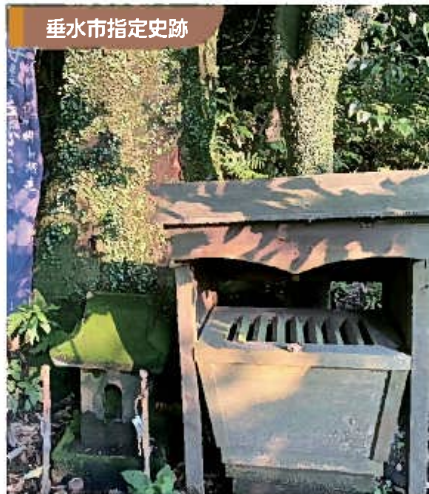
● 所在地

肝付郡肝付町新富 7943-1



宇喜多秀家潜居跡

うきたひでいえんきよあと



垂水市指定史跡

戦国武将が潜んでいた地

戦国武将・宇喜多秀家公の潜居跡地です。現在は、祠が残っています。宇喜多秀家公は、関ヶ原の戦いでは西軍として戦い、徳川方の追求を逃れて島津氏を頼ってきました。そこで、宇喜多秀家公を牛根辺田の平野屋敷に囲い、辺田在任の武士に監視させました。宇喜多秀家公は、謹慎の意を表して毎日3km離れた居世神社へ参詣を欠かさなかったといえます。その後、宇喜多秀家公は助命を約束され、八丈島へ流され、そこで一生を終えています。

● お問合せ先

垂水市教育委員会社会教育課文化スポーツ係
垂水市田神 2750-1
☎ 0994-32-7551

● 所在地

垂水市牛根麓



春

照日神社の神舞

都萬神社より引き継ぐ神舞

てるひじんじやのかんまい



大崎町指定無形文化財(演劇)

明治26(1893)年正月、習得した都萬神社の神舞を照日神社に奉納したことが始まりといわれています。現在は、毎年3月第2日曜日の照日神社の春祭りで奉納されます。12面の神舞面と舞装束などが保存されており、大祭で使用されています。面は、以前神舞を奉納した人が自分で彫刻したのもといわれており、製造者と年号が記入されているものもあります。神舞は「岩戸隠れ」を劇化したもので、現在は8種目継承されています。

春

奴踊り

岩穴祭りで披露される踊り

やっこおどり



曾於市指定無形民俗文化財

奴踊りは、毎年4月8日のお釈迦様の誕生日に近い日曜日に溝ノ口洞穴周辺で披露されています。島津義久が龍造寺隆信を攻めた時の戦勝祝いの踊りや、兵の士気を鼓舞するための踊りといわれていますが定かではありません。かつては地元の青壮年で踊られていましたが、現在は曾於市立中谷小学校の児童を中心に、郷土教育のひとつとして継承されています。

春

高峠のつつじ

高峠をピンク色に染めるつつじ

たかとうげのつつじ



垂水市指定天然記念物

標高722mの高峠一帯に「佐多つつじ」が100種類10万本自生しています。4月下旬～5月中旬にかけて開花します。佐多つつじは、久留米つつじの原種であり、久留米つつじは品種改良されたものです。高峠山頂からは、霧島連山、志布志湾、錦江湾、桜島と360度景色を楽しむことができ、その眺望の良さから、霧島錦江湾国立公園、桜島・錦江湾ジオパークにもなっています。

季節の見どころ

夏 高須町の刀舞

高須町に伝わる神楽舞

たかすちょうのかっなめ



刀舞は、旧暦6月15日に八坂神社の祇園祭でおこなわれている神楽舞です。刀・長刀・鬼神・田の神・弓の5つの舞いを同時に舞いつつ、神輿と共に町内をねりまわります。神社で神事を行い、その後太鼓を打ち鳴らしながら出発します。弓舞を除き、明治末までは波之上神社の神事として大晦日に終夜舞われてきたものでした。

夏 平田神社の神舞

ナゴシドン(夏越し祭)で奉納される神舞

ひらたじんじやのかんまい



正月2日のテコテンドン北岳参詣時に奉納されることもありましたが、現在は毎年8月中旬に岸良の浜辺で奉納されています。戦前の神舞は盛大で、境内の舞台で夜を徹して催されました。舞う順序は、①座着舞 ②鬼神舞 ③山の神舞 ④田の神舞 ⑤四方鬼神舞 ⑥薙刀舞 ⑦12人剣舞 ⑧岩戸舞です。来歴は不詳ですが、応永14(1407)年の棟札が残されていることから、古くから平田神社に伝承されていると考えられます。

夏 地頭館仮屋跡

串良郷の仮屋跡

じとうかんかりやあと



仮屋は、今でいう役所にあたります。現存する石垣は、積石の工法から推測して藩政末期のものと考えられます。廃藩置県後、仮屋跡は小学校に転用されました。石垣、蘇鉄、銀杏、クロガネモチが当時は偲ばせます。

季節の見どころ

夏 大賀ハス

株分けされた古代ハス

おおがはす



大賀ハスは、昭和26(1951)年に元東京大学検見川厚生農場内から発掘された古代ハスで、大賀一郎が発見し発芽に成功したため、大賀ハスと名付けられました。大賀ハスは、2000年以上自然交配されていないことが貴重であり、天然記念物に指定されています。仮屋跡の堀の井筒に植えられている大賀ハスも株分けされたものです。6月下旬~7月に開花します。花は早朝に咲き、昼頃には閉じるため、見学は午前中がお勧めです。

秋 高山町本町の八月踊

美しく優雅な踊り

こうやまちょうほんまちのはちがつおどり



旧暦8月18日(隔年9月第4土曜日)におこなわれます。夕方に水神祭りをおこない、夜に八月踊りが踊られます。本町の道路中央に櫓が組まれ、歌い手、三味線、胡弓が演奏をします。踊りは「五尺」、「ひとつとの」、「おくめ口説」、「愚案橋」などの近世歌謡にあわせて踊り、歌ごとに踊り方も変わります。男性は紋付き袴に藁笠、女性は鳥追い笠にオコソ頭巾姿が多いです。

秋 高山 四十九所神社の流鏝馬

凛々しい青年による流鏝馬

こうやましじゅうくしよじんじやのやぶさめ



毎年10月の第3日曜日(元は旧暦9月16日)に、四十九所神社に奉納されます。騎手は、昔は麓郷士の15歳の男子から選ばれていましたが、現在は地元の中2年生から選出します。神社前の長さ330mの馬場に立てられた3本の的(スギ板)を、走る馬上から弓で射ることを3回繰り返し、合計9本射ます。多く命中した年は豊作といわれていますが、9発全部命中することは避けます。また、流鏝馬道具は有形民俗文化財、古鏡は有形文化財に指定されています。

季節の見どころ

秋

末吉 住吉神社の流鏝馬 五穀豊穡を祈願する流鏝馬

すえよしすみよしじんじやのやぶさめ

県指定無形民俗文化財（曾於市）



曾於市教育委員会から提供

住吉神社の例大祭で、五穀豊穡などを祈願しておこなわれる行事です。江戸時代後期に編纂された地誌『三国名勝図会』にも記載されており、長く続く伝統行事であることが分かります。騎手は、町内の中高生2~3人が選ばれ、中世の蒼狩の姿でおこないます。矢が多くなる中すると、翌年は豊年になるといわれています。また、的はスギ板であり、矢の当たったの平木は、縁起物として人気があります。

秋

蓬原熊野神社の神舞 国家の大事に踊られていた格調高い舞

ふつはらくまのじんじやのかんまい

県指定無形民俗文化財（志布志市）



志布志市教育委員会から提供

毎年秋の例祭日に奉納されています。延宝7（1679）年に巖穴和尚によって美濃紙143枚に墨書された神舞書があり、今でも42段の舞いが伝えられ（県内最多）、舞庭の飾りつけも詳細に伝承されています。舞いは日向系のものが多い見られ、中には南九州独特の舞も奉納されています。古くから国家の大事や災害などに際して奉納されていましたが、終戦後途絶え、昭和46（1971）年に古老を中心に復活されました。

秋

大隅町岩川八幡神社の弥五郎どん祭り 世界巨人博覧会にも参加した曾於のシンボル

おおすみちょういわかわはちまんじんじやのやごろうどんまつり

県指定無形民俗文化財（曾於市）



曾於市教育委員会から提供

弥五郎どん祭りは、五穀豊穡を祈願した祭りです。弥五郎どんとは、神幸の先駆露払い（先導者）を現したものです。竹で編まれた胴体を持ち、身長は一丈六尺（4m85cm）あります。11月3日の岩川八幡神社の秋祭りで公開しており、①起こし太鼓②弥五郎どん組立③弥五郎どん起こし④浜下りからなります。また、弥五郎伝説の里（道の駅）内にある「弥五郎まつり館」には、等身大のレプリカが展示されています。

季節の見どころ

冬

ドヤドヤサー 竹の破裂音に歓声

どやどやさー

肝付町指定無形民俗文化財



肝付町教育委員会から提供

毎年1月7日の昼過ぎに下浜でおこなわれる、鬼火たきの祭りです。真昼に行われることと、干支を表す12本の縄で竹柱を支えることが特徴です。ドヤドヤの語源は不明ですが、「どんど焼き」に「さー（様）」の敬称がついていることから、正月の飾り物などをたいて1年の無病息災を祈願する厄払いの神事として定着しています。

冬

志布志町田之浦山宮神社のダゴ祭り 珍しい春祭り「ダゴ＝ダンゴ」

しぶしちょうたのうらやまみやじんじやのだごまつり

県指定無形民俗文化財（志布志市）



志布志市教育委員会から提供

2月初めにおこなわれ、県内で最も早い春祭りと呼ばれています。青竹にダンゴやニンジン、キンカン、ピーマンを飾り付け稲穂にみたてた「ダゴ花」が奉納されます。祭りでは神舞も奉納されます。昔は33段が舞われましたが、現在は20段が伝承されています。ダゴ花を食べると一年間無事に過ごすことができるとされ、祭りの終わりには参拝者が取り合って持ち帰ります。

冬

鈎引き祭 綱引きならぬ鈎引き

かぎひきまつり

鹿屋市指定無形民俗文化財



鹿屋市教育委員会から提供

鈎引き祭は中津神社に伝わる神事で、五穀豊穡と林業発展を祈願します。神木を山から切り出し、雄鈎と雌鈎とし、雄鈎と雌鈎を絡ませて引き合います。上限地区と下高限地区に分かれて鈎引きをおこない、3回勝負で勝敗が決まります。300年以上の歴史をもち、旧暦2月の初卯の日に行われましたが、現在は毎年2月の第3日曜日におこなわれています。

季節の見どころ

冬

佐多の御崎祭り 映画の舞台になったお祭り

さたのみさきまつり



県指定無形民俗文化財(南大隅町)

南大隅町教育委員会から提供

御崎祭りは、佐多の神様(御崎神社の神様)が郡の神様(近津宮神社の神様)に年に一度会いに行くという神事です。毎年2月に2日間に渡っておこなわれています。1日目の浜下りは、御崎神社の御神体をおかつぎ、7つの集落(田尻、大泊、外之浦、間泊、竹之浦、古里、郡)約20kmを巡行します。2日目に近津宮神社へ神輿が到着し、打植祭りと神舞が奉納されます。この打植祭りと神舞は、本土最南限のもので、

冬

末吉町熊野神社の鬼追い 参詣客の中を暴れまわる鬼

すえよしちょうくまのじんじャのおにおい



県指定無形民俗文化財(曾於市)

曾於市教育委員会から提供

毎年正月7日の夜に光明寺跡である熊野神社でおこなわれます。元々は光明寺でおこなわれていた仏教行事であり、廃寺後に中断していた際、悪疫が流行したため再開されました。鬼は25歳の厄年の男性がすることになっています。鬼から叩かれた人や御幣を取った人は、1年間無病息災との言い伝えがあります。また、熊野神社にある五輪塔と仁王像は、それぞれ市の史跡と有形文化財に指定されています。

<参考文献一覧>

鹿児島県教育委員会「鹿児島県文化財調査報告書3集」(S31)
 鹿児島県教育委員会「鹿児島県文化財調査報告書28集」(S56)
 鹿児島県教育委員会「鹿児島県文化財調査報告書31集」(S60)
 鹿児島県教育委員会「鹿児島県文化財調査報告書38集」(H4)
 鹿児島県教育委員会「鹿児島県文化財調査報告書40集」(H5)
 鹿児島県教育委員会「鹿児島県文化財調査報告書51集」(H17)
 鹿児島県教育委員会「鹿児島県文化財調査報告書61集」(H27)
 鹿児島県教育委員会「鹿児島県文化財調査報告書64集」(H30)
 鹿児島県教育委員会「かごしま文化財事典」(H14)
 大隅町教育委員会「大隅町の文化財」(H17)
 肝付町教育委員会「肝付町の文化財」(H30)
 大崎町教育委員会「大崎町の文化財」(S56)
 大崎町教育委員会「史跡ガイドブック おおさきの歴史を旅してみませんか」(H24)
 東市良町教育委員会「北拾遺史跡(仁吉城跡)紹介パンフレット」
 中津町教育委員会「社会教育課」(H17)
 中津町史跡編纂委員会「中津町史跡」(S48)
 東津良郷史跡編纂委員会「東津良郷史跡」(S55)
 車次町史跡編纂委員会「車次町史跡」(S59)
 鹿屋市史跡編纂委員会「鹿屋市史」(S41)
 八木幸夫「由緒ある田の神石像の女々」(令和元年)
 大隅町教育委員会「大隅町教育委員会調査報告書9「埴輪土埴」(H28)

鹿児島市史編纂委員会「鹿児島市史」(S47)
 鹿児島市、鹿児島市観光協会「ふらっとかの半」
 高景を語る会「高景を語る 集1集」(H26)
 大隅町文化財保護推進委員会「文化財」(S57)
 長吉町史跡編纂委員会「長吉町史跡 下巻」(S49)
 鹿児島市史跡編纂委員会「鹿児島市史跡」(H8)
 文化財編纂委員会「大隅町の文化財」(H8)
 内之浦町史跡編纂委員会「内之浦町史跡」(H15)
 内之浦町文化財保護推進委員会「内之浦町の文化財」(S37)
 志布志町「志布志町誌 下巻」(S47)
 鹿児島市史跡編纂委員会「鹿児島市の石塔 第20号」(H29)
 五代秀克、後口真樹「三国名園図会 第3巻」(S57)
 五代秀克、後口真樹「三国名園図会 第4巻」(S57)
 曾於市ホームページ
 鹿児島市公式サイト
 志布志市ホームページ
 肝付町ホームページ
 鹿児島市ホームページ
 文化遺産オンライン(文化遺産データベース)
 埴輪土埴

